



ニュージーランドの政策金利引き下げについて

ポイント1 政策金利を3.00%から2.75%へ引き下げ

9月10日、ニュージーランド準備銀行（中央銀行）は、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを0.25%引き下げ、2.75%とすることを決定しました。

前回会合で、追加利下げが示唆されていたことから、市場予想通り、3会合連続の利下げとなりました。

ポイント2 更なる追加利下げの可能性を示唆

利下げの背景には、景気見通しの悪化と低インフレ長期化への警戒があります。主要輸出品である乳製品価格の大幅下落を受け、企業の景況感も悪化しています。足元の景気について、同中銀は、「7月会合時よりも、成長見通しがより軟調になった」との認識を示しています。

同中銀は、今後の経済指標により、現時点では追加利下げの可能性が高いことを示唆しました。

ポイント3 NZドルは下落

今回の決定を受けて、9月10日午前8時頃の東京外国為替市場では、NZドルは対米ドルで前日比1.5%程度、対円で同1.7%程度のNZドル安となっています。

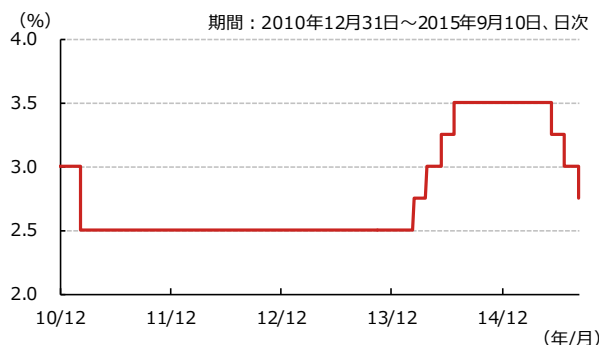
同中銀のウィーラー総裁が「商品価格が下落していることを考慮すれば、一段の通貨安が適切だ」と述べたことや、追加利下げ観測が残ることなどから、当面のNZドルは対米ドルでの下落圧力がかかりやすいと考えられます。

一方、同中銀の見通しでは、2016年のインフレ率は、前年比較で原油価格下落の影響が少なくなるなどから、目標値1-3%の範囲内に戻ることが予想されています。また、先進国の中で相対的に高い金利水準などもNZドルの下支え要因になると考えられます。

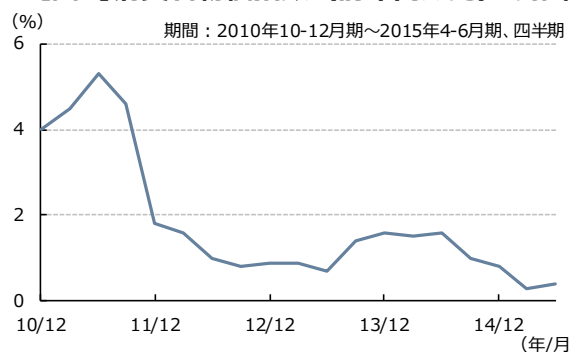
重要イベント
 2015年9月17日 GDP（国内総生産、4-6月期）
 2015年10月29日 金融政策決定会合

重要イベントは現地時間で記載しています。

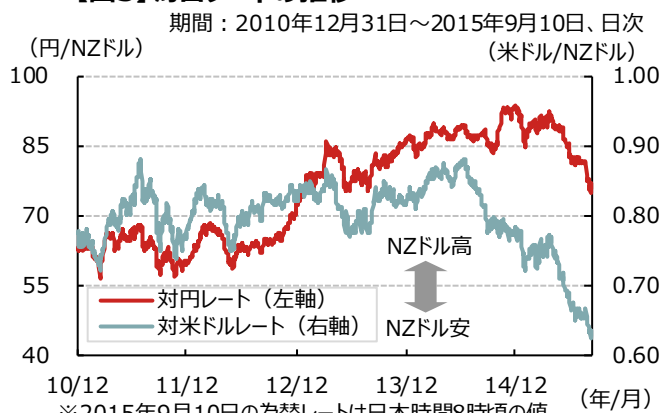
【図1】政策金利の推移



【図2】消費者物価指数（前年同期比）の推移



【図3】為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成